

「森と湖に親しむ旬間」行事報告

7月28日(土)真名川ダム及び福井県が管理する7ダム会場で、29日(日)に九頭竜ダム及び長野発電所会場において「森と湖に親しむ旬間」行事を開催しました。

今年は、福井県が管理する7ダムの見学会を開催、大野市及び北陸電力(株)によるパネル展示等を行いました。

両日とも天候に恵まれ、真名川ダム会場に約270人、九頭竜ダム会場に約250人、長野発電所会場に約280人、福井県が管理する7ダム会場にもたくさんの家族連れの方々などが県内外から来場されました。

関連行事として、2008年から毎年開催されている「もりみずカップ少年サッカー大会」が7月9日、10日に行われました。

真名川ダム会場



福井県が管理する 7ダム会場



<会場>

- ・笹生川ダム会場
- ・浄土寺川ダム会場
- ・永平寺ダム会場
- ・龍ヶ鼻ダム会場
- ・広野ダム会場
- ・榎谷ダム会場
- ・大津呂ダム会場

(笹生川ダム見学の様子)

九頭竜ダム会場



長野発電所会場



真名川ダム会場 28日(土)

真名川ダム(非常用ゲート操作設備、堤体内通路、キャットウォーク、管理用発電設備、噴水設備など)を見学いただき、ダムのスケールや構造を体感して頂きました。また、ダムマニア(ダムをこよなく愛するダムマニアの方)によるダムの必要性についてスライドを使って説明して頂きました。

<キャットウォークでアーチ式ダムを体感>



<ひんやりとした管理用通路内>



<コンジットゲート機械設備の見学>



<管理用発電設備等の見学>



<ダム湖との水位差を利用した水圧による噴水見学>



<クレストゲート操作設備>



工作教室

福井森林管理署による小枝を使った森のマスコット作りやスマートボールゲームが出来、子供たちに大変好評でした。

また、地元業者さんの協力による、流木を利用した工作教室も大変好評でした。

<森のマスコット作り>



<スマートボールゲーム>



<流木工作教室>



パネルで紹介

福井森林管理署により、美しい森づくりを目指して国有林の森林保全の取り組みを紹介。
福井県により、県が管理するダムや森の保全について紹介。
また、北陸電力(株)により、再生可能エネルギーの導入に向けた取り組み・環境保全活動について紹介をしました。

<国有林の森林保全の取り組み紹介> 福井森林管理署



<県が管理する7ダムや森の保全について紹介> 福井県



<再生可能エネルギーの導入に向けた取り組み・環境保全活動について紹介> 北陸電力(株)



九頭竜川ダム統合管理事務所により、平成23年9月台風12号被災における国土交通省の取り組み、わたしたちの真名川ダム(子供向けパネル)、真名川ダムの環境及び自然再生の取り組み等について紹介しました。



ダムマニア

～ダムの魅力を語る～

「総合治水」「色々な発電比較」「揚水発電とは」と題してプレゼンテーションをして頂きました。



これまでにダムマニアの方々が撮影された写真の一部を管理用通路に展示させて頂きました。



流木・堆肥・おが粉の配布

ダム湖に流れついた様々な形の流木や、その流木などから作った堆肥・おが粉をお持ち帰り頂きました。

<流木プレゼント>



<堆肥・おが粉のプレゼント>



福井県が管理するダムの見学・説明会(7ダム) 28日(土)

天候に恵まれ県内外から34組67名の家族連れの方々などが来場されました。
笹生川ダム会場をはじめ、浄土寺川ダム、龍ヶ鼻ダム、永平寺ダム、広野ダム、榎谷ダム、大津呂ダムの7会場において、ダムコンシステムなどを見学いただき、ダムの構造等を説明しました。

<笹生川ダムでの見学・説明会の様子>



笹生川ダム (大野市)

浄土寺川ダム (勝山市)

永平寺ダム (永平寺町)

龍ヶ鼻ダム (坂井市)

広野ダム・榎谷ダム (南越前町)

大津呂ダム (おおい町)

九頭竜ダム会場 29日(日)

九頭竜ダムゲート室・連絡通路

大きなゲートを正面から見たり、高さ128mの洪水吐を見下ろしたり見上げたり、階段を上り下りしてダムのスケールを体感して頂きました。

<九頭竜ダムゲート室で説明>



冬季連絡通路 高さ128m 639段の階段にチャレンジ

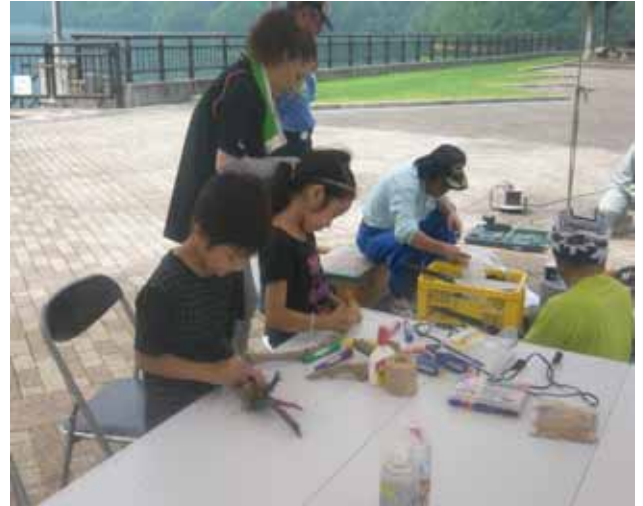
長野発電所まで通じる冬季連絡通路を、がんばって昇降されました。ゆっくり降りられる方や中には元気に駆け上がる方もおられました。



流木配布と流木工作教室

ダム湖に流れついた様々な形の流木をお持ち帰り頂きました。
また、地元業者さんの協力による流木を使った工作、流木を輪切りにした木にお絵かきの工作教室も大変好評でした。

<流木工作教室>



<九頭竜湖の流木プレゼント>



ダムマニア ~ダムの魅力を語る~

「総合治水」「色々な発電比較」「揚水発電とは」と題してプレゼンテーションをして頂きました。



パネル展示

大野市により、湧水文化再生に関する取り組み及び越前美濃街道沿線自治体の観光紹介をしました。



九頭竜川ダム統合管理事務所により、平成23年9月台風12号被災における国土交通省の取り組み、わたしたちの九頭竜ダム(子供向けパネル)、九頭竜ダムの概要等をパネルで紹介しました。

また、ダムマニアが作った全国のダムマニアカードを展示し好評でした。



長野発電所会場 29日(日)

地下発電所を見学

県内の水力発電所で最大の地下発電所を見学いただき、発電の仕組みやスケールの大きさを
実体験して頂きました。

<風力模型で楽しむ子供達>



<プリクラ撮影で楽しむ子供達>



<地下発電所入り口>



<ひんやりとした管理通路>



<地下発電所>



<地下発電所内で説明>



広告および広報

新聞広告(福井新聞)への掲載(2回)を行いました。

平成24年7月22日(日)朝刊

平成24年7月27日(金)朝刊

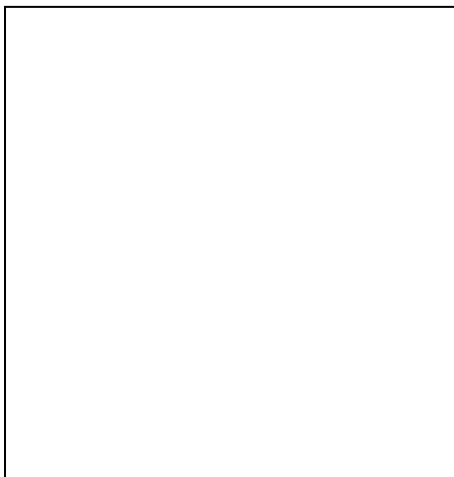
7/28日・29日は、ダムまるごと見学会
ダムの圧倒的スケールを体験しよう!
 28日(土) 10:00-16:00 真名川ダム体験!
 29日(日) 10:00-16:00 九頭竜ダム体験!
 福井県が管理するダムの見学・説明会

28日(土) 29日(日) ダムのスケールを体験!
**真名川ダム・九頭竜ダムの
ダム見学会を開催**
 28日(土) 10:00-16:00 真名川ダム
 29日(日) 10:00-16:00 九頭竜ダム
 福井県が管理するダムの見学・説明会

平成24年7月18日(水)に記者発表を行い、新聞記事として取りあげて頂きました。
 記者発表

記者発表の報道記事のスクリーンショット。福井新聞、読売新聞、およびその他の新聞に掲載された記事の抜粋が示されています。

福井新聞 平成24年7月27日(金)朝刊

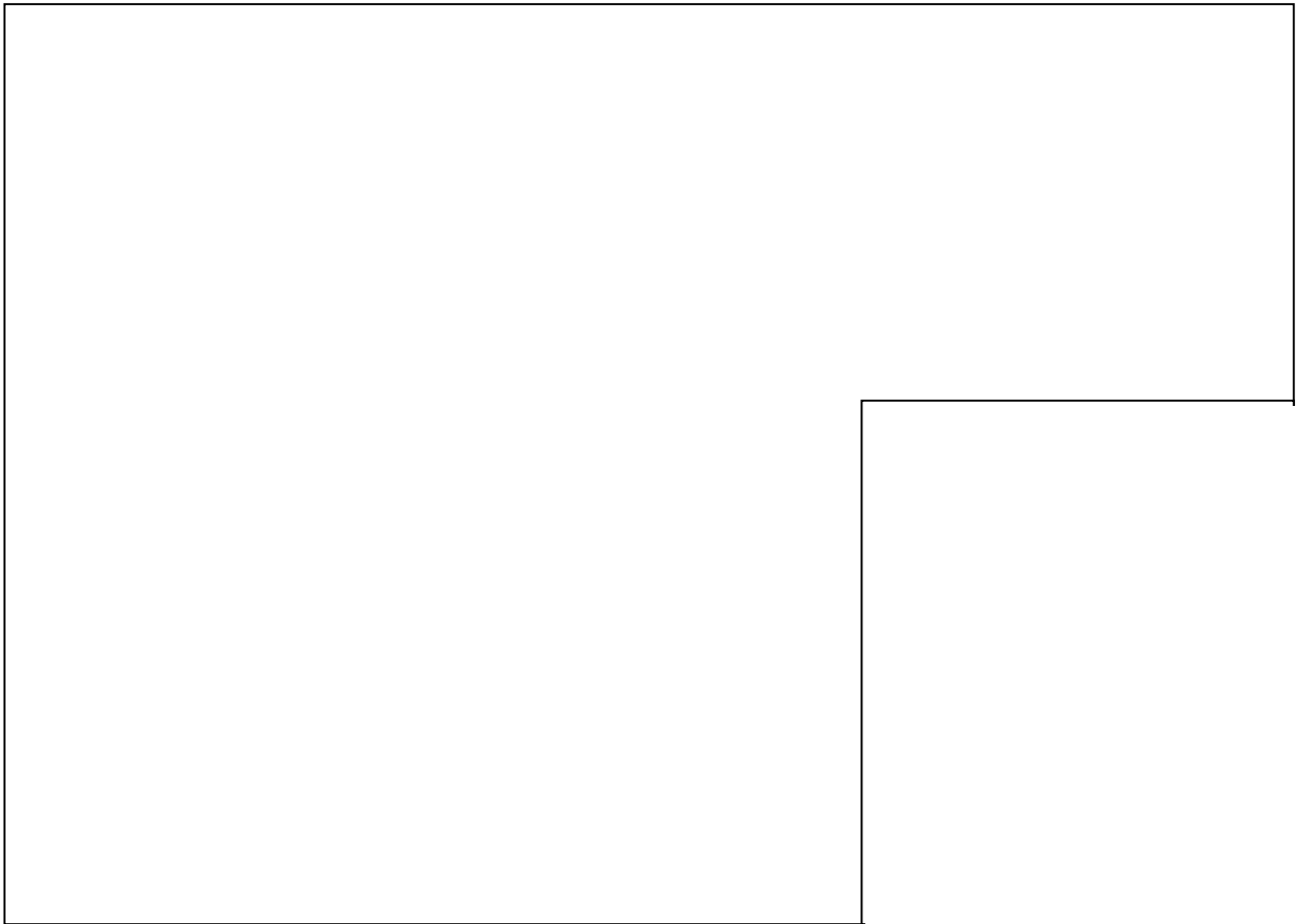


読売新聞 平成24年7月27日(金)朝刊

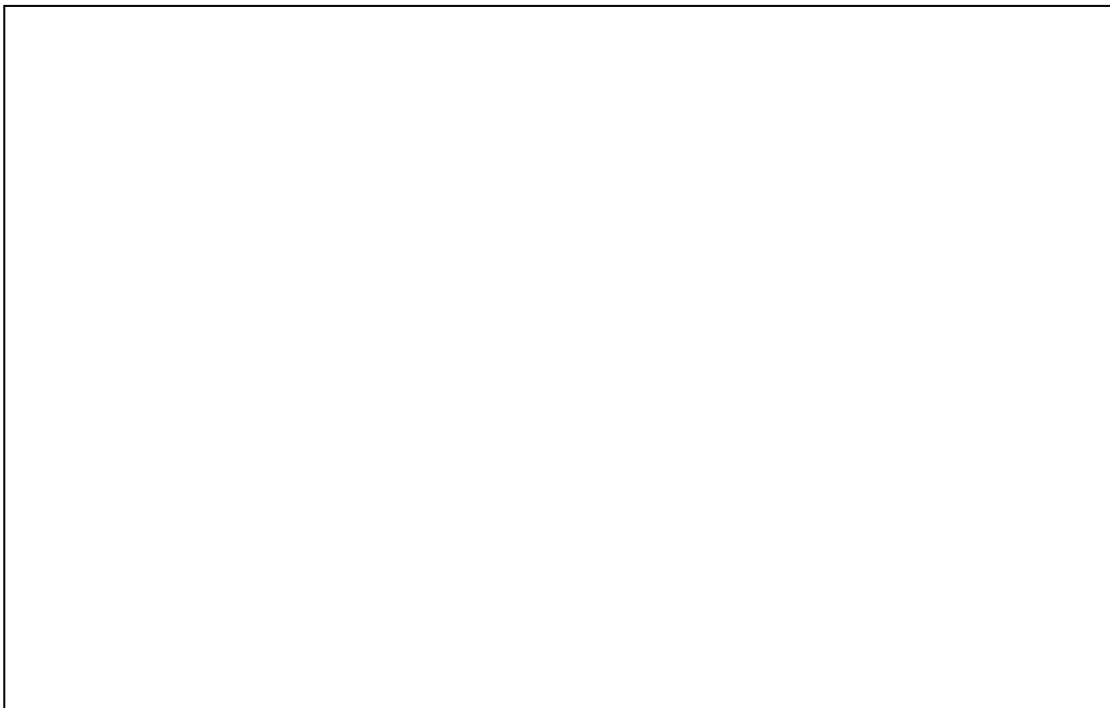


ダム見学会 新聞記事

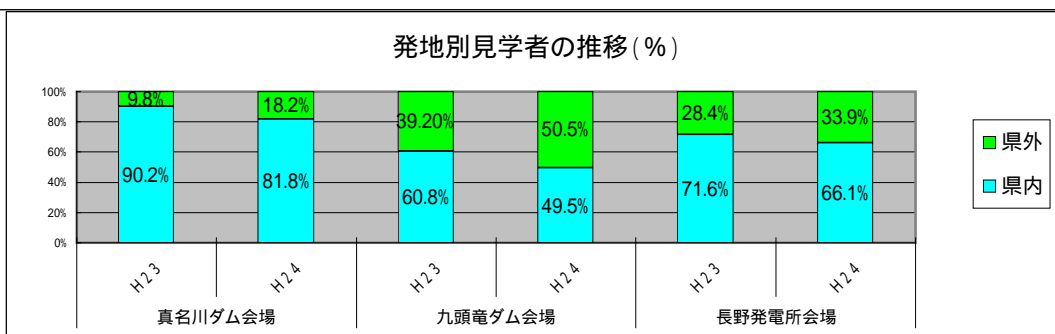
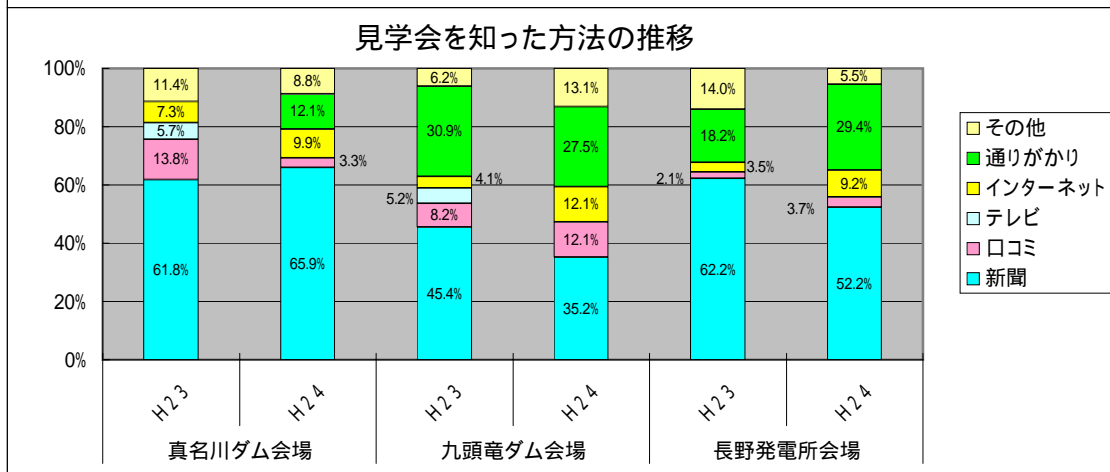
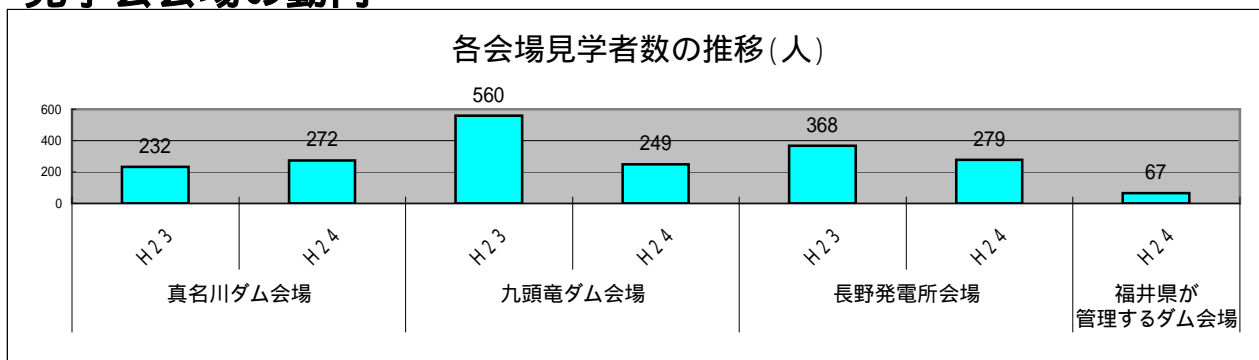
日刊県民福井新聞 平成23年7月29日(日)朝刊



中日新聞 平成23年7月29日(日)朝刊



見学会会場の動向



真名川ダム会場は、「新聞により見学会を知った」の割合が多く、立地条件もあり県内の見学者の占める割合が多く、通りがかりでの見学者は少ない。

九頭竜ダム会場・長野発電所会場は、福井県と岐阜県を結ぶ主街道沿いに位置する事から通りがかりでの見学者の割合が多い結果となっている。

なお、各会場とも、「新聞により見学会を知った」の回答が多い事から、これからも新聞広告等を活用してより多くの方々を知っていただけるようにしたい。

総括

両日とも天候に恵まれ、たくさんの家族連れの方々などが県内外から来場されましたが、「越前おおの“とんちゃん”祭」の開催日が異なった事、オリンピックの開幕と重なった事が起因するのか、九頭竜ダム会場、長野発電所会場では、昨年に比べて入場者が減る結果となりました。

しかし、今年は新たに、福井県による福井県が管理する7つのダム見学会を開催、真名川ダム会場で北陸電力(株)による再生可能エネルギーの導入に向けた取り組みや環境保全活動などについて紹介及び九頭竜ダム会場で大野市による湧水文化再生に関する取り組みや越前美濃街道沿線の観光紹介する事が出来、より充実した見学会となりました。

アンケートの結果、各会場とも「勉強になった、よかった」との回答が多かったが、「もっと、いろんな施設の見学がしたい」、「見学会を増やしてほしい」との回答もあり、今後、いろんな施設の見学が出来るように工夫をして、「森林やダム、河川等の重要性について、国民の関心を高め理解を深める」ことを目指していきたい。

「森と湖に親しむ旬間」関連行事

もりみずカップ2012少年サッカー大会

2008年に大野市で行われた「森と湖に親しむ旬間全国行事」の記念行事として、九頭竜川流域のチームを招いて始まりました。

地元奥越をはじめとする12の少年サッカーチームが参加して熱戦が繰り広げられました。

福井新聞 平成23年7月10日(火)

